

令和5年度優秀卒業論文賞につきまして（総評）

優秀卒業論文賞選考委員会委員長 村田英治

日本大学商学部における優秀卒業論文賞選考につきましては、本年度から新方式により、商業、経営、会計、総合の四部門に分かれて論文審査を行うことになりました。各部門における審査・選考は、部門に対応して三学科・総合教育に所属する先生方が担当し、専門的立場から内容に踏み込んだ審査・選考が行なわれました。結果として、15編の応募論文すべてが、最優秀卒業論文・優秀卒業論文に選定されたことは、まずもって、本学部のゼミナールの研究水準の高さを示す快挙であり、以下の受賞者のみなさんとその成果を讃えたいと思います。

【商業部門】

- 遠峰 駿輔さん 学生及び若年社会人を対象にアンケート調査を行い、金融リテラシーの差異をもたらす属性を明らかにしました。
- 小原有莉奈さん 公立動物園の社会的意義を明らかにした上で、その資金不足を解消するための持続的な手段を提案しました。
- 佐藤 眞華さん 物流業界におけるトラックドライバーの人手不足を解消する求貨求車システムについて具体的な提言をしました。
- 山田 悠太さん 日本における原発忌避の風潮の中で、脱炭素とエネルギー自給率の向上を実現するための方策を考察しました。
- 齋藤 楓さん 長野県岡谷市を事例として、地域ブランドがもたらす社会効果を分析し、それを改善する地域ブランド戦略を提案しました。

【経営部門】

- 高橋 辰英さん 破壊的イノベーションに着目し、それが既存の業界・市場や企業にもたらす影響を実証的に分析しました。
- 久米 詩織さん 病院の赤字経営によって持続的な医療体制が揺らぐ中、アンケート調査により消費者側の認識のギャップを明らかにしました。
- 本多 玲さん スーパーマーケットにおける競争ポジションごとに、マーケティングミックスに注目した定石的戦略を解明しました。
- 若山 あみさん 冷凍冷蔵庫市場とたんぱく補給食品市場を対象にして、消費者との相互作用による新規市場創造プロセスを明らかにしました。

【会計部門】

- 須藤 翼さん 炭素削減効果の高い内部炭素課金制度への移行を企業に促すため、残余配分型の課金制度を提案しました。

【総合部門】

- 石川 雅康さん 地域猫活動における理解・協力の条件を，ソーシャル・マーケティングの視点を適用して，世田谷区を事例に実証的に解明しました。
- 坂田 琴音さん 歴史的研究によりスパイス産業の光と影を論じた上で，スパイスの減塩効果に着目した新ビジネスの可能性を提言しました。
- 笠原 優さん POP（購買時点）広告のデザインが視線行動に及ぼす影響を，アイトラッカーを用いた実験によって分析しました。
- 中里 桃花さん 自ら運営に携わった経験もふまえて，映画祭を社会的な視点から研究し，そのコミュニティ形成等の役割を考察しました。
- 小杉うららさん 韓国ドラマの国際的成功の要因を多角的に分析し，その歴史的背景，公的支援，経済効果などを明らかにしました。

なお，本年度より，優秀卒業論文のうち特に優れた論考を最優秀賞に選定することになり，【商業部門】佐藤さん，【経営部門】若山さん，【総合部門】石川さんが栄誉に輝きました。

人工知能の発達により，人類の知性のありようが改めて問われる中，一年という時間を費やして，試行錯誤を重ねながら，一編の論文を完成させる意義は極めて大きいと思います。人は考える主体であることを免れず，さまざまな状況の中で，最適解を得るために考え続けなければなりません。インターネットの情報に安易に頼れば，情報のしもべになるばかりです。そして，自らの思考の正しさを検証する術は，それを文章にすることを措いてない，と私は考えます。受賞者のみなさんが，今後も文章表現に磨きをかけ，考える主体として成長し，社会で活躍されることを心より願っております。